

<対策のポイント>

加盟国の資源管理能力向上のための支援を通じて、**カツオ・マグロ類等の資源管理の推進、持続的生産及び我が国への安定的な供給の確保**を目指します。

<政策目標>

地域漁業管理機関を通じてカツオ・マグロ類等資源の適切な保存管理を実現するために、WCPFCでは毎年6つ、ICCATでは毎年8つの保存管理措置を採択。

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 大西洋カツオ・マグロ資源管理能力強化等支援事業 16 (17) 百万円

- 大西洋におけるカツオ・マグロやサメ類資源の管理戦略策定に係る理解醸成及びその実施に必要な適時適切な漁業データ収集能力強化について、アフリカを中心とする沿岸途上国への支援を行うほか、管理戦略の高精度化に必要なデータ収集を支援することで、資源管理能力の更なる強化を図ります。

2. 中西部太平洋カツオ・マグロ資源管理能力強化等支援事業 23 (-) 百万円

- WCPFC加盟国のうちミクロネシア等の太平洋島嶼国を対象に、資源管理能力の向上等に加え、管理戦略評価 (MSE) 実施に対応する人材育成を行うことで、適切な資源管理が行われるよう支援を行い、我が国カツオ・マグロ類漁業者の主要漁場である中西部太平洋における資源管理の推進及びカツオ・マグロ類等の持続的生産及び安定的な供給の確保を目指します。

○ICCAT

- ・ オブザーバー等を対象に、魚種判定、魚体測定及び漁獲データの記録等に関する講習及び実習を実施することで、人材育成・体制構築を行います。
- ・ 管理戦略の高精度化に必要な標識放流・耳石収集調査の支援を行います。

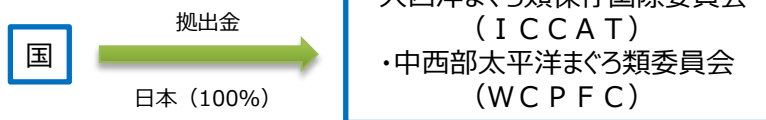


○WCPFC

- ・ 電子監視システム(EM)により収集したデータの分析を補助する人材の派遣など、資源管理能力の向上を目指し、人材育成・体制構築を行います。
- ・ 専門家を招いたワークショップを開催し、管理戦略評価 (MSE) に関する理解促進を図ります。



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局新興地域グループ
(2) 水産庁国際課

(03-3502-5913)
(03-3502-8460)